

中国語学中国文学専攻分野

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 学期	曜日	講時	頁	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
中国語学中国文学特論Ⅰ	中国古典小説の展開と受容	2	土屋 育子	1学期	火	4	1	中国語学中国文学特論 Ⅰ
中国語学中国文学特論Ⅱ	『韓詩外伝』を読む	2	矢田 尚子	2学期	火	4	2	中国語学中国文学特論 Ⅱ
中国語学中国文学特論Ⅲ	漢籍書誌学入門	2	上原 究一	集中(1学期)			3	中国語学中国文学特論 Ⅲ
中国語学中国文学史総合演習Ⅰ	中国語学史中国文学史上の諸問題	2	土屋 育子、矢田 尚子	1学期	月	4	4	中国語学中国文学研究 演習Ⅰ
中国語学中国文学史総合演習Ⅱ	中国語学史中国文学史上の諸問題	2	土屋 育子、矢田 尚子	2学期	月	4	5	中国語学中国文学研究 演習Ⅱ
中国語学中国文学研究演習Ⅰ	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	1学期	金	2	6	中国語学中国文学研究 演習Ⅰ
中国語学中国文学研究演習Ⅱ	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	2学期	金	2	7	中国語学中国文学研究 演習Ⅱ
中国語学中国文学研究演習Ⅲ	中国近世文学研究	2	土屋 育子	1学期	水	3	8	中国語学中国文学研究 演習Ⅰ
中国語学中国文学研究演習Ⅳ	中国近世文学研究	2	土屋 育子	2学期	水	3	9	中国語学中国文学研究 演習Ⅱ

科目名：中国語学中国文学特論Ⅰ／ Chinese Language and Literature(Advanced Lecture)Ⅰ

曜日・講時：前期 火曜日 4 講時

学期：1 学期， 単位数：2

担当教員：土屋 育子（教授）

講義コード：LM12405， 科目ナンバリング：LGH-LIT601B， 使用言語：2 カ国語以上

【(平成 30 年度以前入学者) 対応科目名： 中国語学中国文学特論Ⅰ 】

1. 授業題目：

中国古典小説の展開と受容

2. Course Title (授業題目)：

A study of Chinese classic novel

3. 授業の目的と概要：

【目的】

中国古典小説には、古い由来を持つ故事を淵源とし、時代が進むにつれて変化を遂げ、広く受容されてきた作品が少なからず存在する。そこで本授業では、元になった故事と後世の作品との比較を行い、次の 3 点を目的として進める。

- (1) 物語が成立する過程について理解を深める。
- (2) 広い視野で考察し、考察した内容をまとめ、表現できるようにする。
- (3) 中国古典文の様々な文体に慣れ、読解力を向上させる。

【概要】

本授業では、前半に王昭君故事、後半に唐代伝奇「杜子春伝」を取り上げる。それぞれの作品のもとになった故事と、その後の展開と受容を、作品の読解（日本語訳も一部使用する）を通して考察していく。

4. 学習の到達目標：

- (1) 中国文学史における古典小説に関する理解を深める。
- (2) 作品の比較を通し、自ら考察する力を養い、自らの考えをまとめ、表現できるようにする。
- (3) 中国古典文の読解力の向上。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 第 1 回 中国古典小説について
- 第 2 回 王昭君故事の読解
- 第 3 回 敦煌変文について
- 第 4 回 「王昭君変文」読解 (1)
- 第 5 回 「王昭君変文」読解 (2)
- 第 6 回 雑劇「破幽夢孤雁漢宮秋」読解 (1)
- 第 7 回 雑劇「破幽夢孤雁漢宮秋」読解 (2)
- 第 8 回 唐代伝奇について
- 第 9 回 唐代伝奇「杜子春」読解 (1)
- 第 10 回 唐代伝奇「杜子春」読解 (2)
- 第 11 回 唐代伝奇「杜子春」読解 (3)
- 第 12 回 短編白話小説「杜子春三入長安」読解 (1)
- 第 13 回 短編白話小説「杜子春三入長安」読解 (2)
- 第 14 回 日中比較 芥川竜之介の作品との比較
- 第 15 回 全体のまとめ 中国古典小説の発展と受容から見えるもの

6. 成績評価方法：

- 授業への取り組み (50%)
発表 (資料作成も含む) (50%)

7. 教科書および参考書：

プリントを配布。

参考書は授業中に紹介する。

8. 授業時間外学習：

- 配布資料には事前に目を通しておくこと。
作品読解では、出席者が読解する回を設けます。

9. その他：なし

科目名：中国語学中国文学特論Ⅱ／ Chinese Language and Literature(Advanced Lecture)Ⅱ

曜日・講時：後期 火曜日 4 講時

学期：2 学期， 単位数：2

担当教員：矢田 尚子（准教授）

講義コード：LM22404， 科目ナンバリング：LGH-LIT602B， 使用言語：2 カ国語以上

【（平成 30 年度以前入学者）対応科目名： 中国語学中国文学特論Ⅱ 】

1. 授業題目：

『韓詩外伝』を読む

2. Course Title（授業題目）：

Literary Study of Han Shi Wai Zhuan

3. 授業の目的と概要：

【目的】中国文言文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】漢代に編纂された故事説話集の一つである『韓詩外伝』を解説します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

4. 学習の到達目標：

- ①中国文言文を読む際に必要な基礎的事項を理解し、実際に運用することができる。
- ②分かりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。
- ③レジュメや発表の内容を理解して疑問点や問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 『韓詩外伝』について(1)
3. 『韓詩外伝』について(2)
4. 『韓詩外伝』の解説(1)
5. 『韓詩外伝』の解説(2)
6. 『韓詩外伝』の解説(3)
7. 『韓詩外伝』の解説(4)
8. 『韓詩外伝』の解説(5)
9. 『韓詩外伝』の解説(6)
10. 『韓詩外伝』の解説(7)
11. 『韓詩外伝』の解説(8)
12. 『韓詩外伝』の解説(9)
13. 『韓詩外伝』の解説(10)
14. 『韓詩外伝』の解説(11)
15. まとめ

6. 成績評価方法：

授業参加態度（質疑応答）50%、発表内容（レジュメおよび口頭での説明）50%

7. 教科書および参考書：

教科書については初回ガイダンスの際に指示します。参考書については授業で適時、紹介します。

8. 授業時間外学習：

予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、疑問点・問題点を発見すること。

復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見を自身の担当時に反映させることができるよう理解を深めておくこと。

9. その他：なし

科目名：中国語学中国文学特論Ⅲ／ Chinese Language and Literature(Advanced Lecture)Ⅲ

曜日・講時：前期集中 その他 連講

学期：集中(1 学期)， 単位数：2

担当教員：上原 究一（非常勤講師）

講義コード：LM98818， 科目ナンバリング：LGH-LIT603J， 使用言語：日本語

【(平成 30 年度以前入学者) 対応科目名： 中国語学中国文学特論Ⅲ 】

1. 授業題目：

漢籍書誌学入門

2. Course Title (授業題目)：

Chinese Bibliography

3. 授業の目的と概要：

漢籍についての基本的な知識は、前近代の中国について研究する上では、どのような方面からの研究においても必要となるものです。本講義では、モノとしての書物をどのように記録するかについての学問である書誌学の手法によって、漢籍についての基本的な知識を習得し、併せてモノとしての漢籍の取り扱い方について学びます。

4. 学習の到達目標：

(1) 漢籍書誌学の基礎を習得し、各項目を記録することの意義を理解した上で、自分で漢籍の原本調査をして書誌データを記録できる（カードを採れる）ようになる。

(2) 文学・哲学・歴史学その他様々な方面からの中国学研究に、漢籍書誌学がどのように関わるかを学ぶ。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回 漢籍書誌学とは

第2回 漢籍書誌学の基本用語

第3回 鈔刻（刊写）の種別

第4回 刊・印・修の区別

第5回 書誌データの見方と採り方（1）

第6回 書誌データの見方と採り方（2）

第7回 書誌データの見方と採り方（3）

第8回 書誌データ作成実習（1）

第9回 書誌データ作成実習（2）

第10回 書誌データ作成実習（3）

第11回 書誌データ作成実習（4）

第12回 和刻本と朝鮮刻本

第13回 デジタル化時代の漢籍書誌学

第14回 漢籍書誌学と出版文化研究（1）

第15回 漢籍書誌学と出版文化研究（2）

6. 成績評価方法：

授業への参加状況（50％）

レポート（50％）

7. 教科書および参考書：

（教科書）

授業中にプリントを配布する。

（参考書）

京都大学人文科学研究所附属漢字情報研究センター『漢籍目録 カード作成要領』（朋友書店、2009 年）

堀川貴司『書誌学入門——古典籍を見る・知る・読む』（勉誠出版、2010 年）

8. 授業時間外学習：

書誌データ作成実習では、受講者一人一人に東北大学附属図書館の所蔵する漢籍のうちどれか1点の原本を閲覧しながら書誌データを作成して頂く予定です。開講1ヶ月前までに書誌データを採りたい本（関心のある本）を各自で選んで、別途指定する方法で連絡して下さい。連絡がない場合はこちらで対象の本を指定します。

9. その他：なし

・必須ではありませんが、受講者各自がネット接続可能なパソコンやタブレット端末などを持参して頂けると便利です。

・書誌データ作成実習の日には、鉛筆を持参して下さい（ボールペンや万年筆のようなインクを使うものはもちろん、シャープペンシルも不可）。

科目名：中国語学中国文学史総合演習Ⅰ／ Chinese Language and Literature(Integration Seminar)Ⅰ

曜日・講時：前期 月曜日 4 講時

学期：1 学期， 単位数：2

担当教員：土屋 育子、矢田 尚子（教授、准教授）

講義コード：LM11404， 科目ナンバリング：LGH-LIT604J， 使用言語：日本語

【(平成 30 年度以前入学者) 対応科目名： 中国語学中国文学研究演習Ⅰ】

1. 授業題目：

中国語学史中国文学史上の諸問題

2. Course Title (授業題目)：

Studies of Chinese Language and Literature

3. 授業の目的と概要：

【目的】

1. 中国語学の各分野について、理解を深める。
2. 中国文学の各分野について、理解を深める。
3. 研究発表の方法と論文作成の方法を、学ぶ。
4. 教員からの指摘を的確に理解し、解決方法を探索する。
5. 他人の研究発表を的確に理解した上で、自らの質問を過不足なく言語化する方法を、学ぶ。

【概要】

受講生は輪番で、自らのもっとも関心のある課題について、その先行研究の整理・問題点の析出・解決のための調査（文献の読解と分析を含む）の過程と結果を、文章化して発表する。発表レジュメは前週金曜正午まで。

発表レジュメを受け取った受講生は、三日間でレジュメを吟味・検討する。

4. 学習の到達目標：

上記の【目的】の 1～5。および 6. 自ら納得のいく、適正な論文の作成。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (1)
2. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (2)
3. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (3)
4. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (4)
5. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (5)
6. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (6)
7. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (7)
8. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (8)
9. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (9)
10. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (10)
11. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (11)
12. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (12)
13. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (13)
14. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (14)
15. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (15)

6. 成績評価方法：

出席と質疑応答 (50%)。

レジュメによるプレゼンテーションと、レジュメ改訂の試みの発表 (50%)。

7. 教科書および参考書：

受講生各自の準備するプリント。

8. 授業時間外学習：

発表者は、プレゼンテーションの準備。三日後の改訂稿の準備も含む。

発表者以外の受講生は、三日前に提出されるレジュメの吟味と検討。

9. その他：なし

科目名：中国語学中国文学史総合演習Ⅱ／ Chinese Language and Literature(Integration Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時

学期：2 学期， 単位数：2

担当教員：土屋 育子、矢田 尚子（教授、准教授）

講義コード：LM21404， 科目ナンバリング：LGH-LIT605J， 使用言語：日本語

【(平成 30 年度以前入学者) 対応科目名： 中国語学中国文学研究演習Ⅱ 】

1. 授業題目：

中国語学史中国文学史上の諸問題

2. Course Title (授業題目)：

Studies of Chinese Language and Literature

3. 授業の目的と概要：

【目的】

1. 中国語学の各分野について、理解を深める。
2. 中国文学の各分野について、理解を深める。
3. 研究発表の方法と論文作成の方法を、学ぶ。
4. 教員からの指摘を的確に理解し、解決方法を探索する。
5. 他人の研究発表を的確に理解した上で、自らの質問を過不足なく言語化する方法を、学ぶ。

【概要】

受講生は輪番で、自らのもっとも関心のある課題について、その先行研究の整理・問題点の析出・解決のための調査（文献の読解と分析を含む）の過程と結果を、文章化して発表する。発表レジュメは前週金曜正午まで。
発表レジュメを受け取った受講生は、三日間でレジュメを吟味・検討する。

4. 学習の到達目標：

上記の【目的】の1～5。および 6. 自ら納得のいく、適正な論文の作成。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (1)
2. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (2)
3. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (3)
4. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (4)
5. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (5)
6. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (6)
7. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (7)
8. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (8)
9. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (9)
10. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (10)
11. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (11)
12. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (12)
13. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (13)
14. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (14)
15. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (15)

6. 成績評価方法：

出席と質疑応答 (50%)。

レジュメによるプレゼンテーションと、レジュメ改訂の試みの発表 (50%)。

7. 教科書および参考書：

受講生各自の準備するプリント。

8. 授業時間外学習：

発表者は、プレゼンテーションの準備。三日後の改訂稿の準備も含む。

発表者以外の受講生は、三日前に提出されるレジュメの吟味と検討。

9. その他：なし

科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅰ／ Chinese Language and Literature(Advanced Seminar)Ⅰ

曜日・講時：前期 金曜日 2 講時

学期：1 学期， 単位数：2

担当教員：矢田 尚子（准教授）

講義コード：LM15203， 科目ナンバリング：LGH-LIT606B， 使用言語：2 カ国語以上

【(平成 30 年度以前入学者) 対応科目名： 中国語学中国文学研究演習Ⅰ】

1. 授業題目：

楚辞文学研究

2. Course Title (授業題目)：

Literary Study of Chu Ci

3. 授業の目的と概要：

【目的】中国古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文文学作品『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を解説します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

4. 学習の到達目標：

- ①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的事項を理解し、実際に運用することができる。
- ②分かりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。
- ③レジュメや発表の内容を理解して疑問点や問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス

2. 『楚辞』について(1)

3. 『楚辞』について(2)

4. 『楚辞』「離騷」の解説(1)

5. 『楚辞』「離騷」の解説(2)

6. 『楚辞』「離騷」の解説(3)

7. 『楚辞』「離騷」の解説(4)

8. 『楚辞』「離騷」の解説(5)

9. 『楚辞』「離騷」の解説(6)

10. 『楚辞』「離騷」の解説(7)

11. 『楚辞』「離騷」の解説(8)

12. 『楚辞』「離騷」の解説(9)

13. 『楚辞』「離騷」の解説(10)

14. 『楚辞』「離騷」の解説(11)

15. 『楚辞』「離騷」の解説(12)

6. 成績評価方法：

授業参加態度（質疑応答）50%、発表内容（レジュメおよび口頭での説明）50%

7. 教科書および参考書：

教科書については初回ガイダンスの際に指示します。参考書については授業で適時、紹介します。

8. 授業時間外学習：

予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、疑問点・問題点を発見すること。

復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見をを自身の担当時に反映させることができるよう理解を深めておくこと。

9. その他：なし

科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅱ／ Chinese Language and Literature(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 金曜日 2 講時

学期：2 学期， 単位数：2

担当教員：矢田 尚子（准教授）

講義コード：LM25202， 科目ナンバリング：LGH-LIT607B， 使用言語：2 カ国語以上

【(平成 30 年度以前入学者) 対応科目名： 中国語学中国文学研究演習Ⅱ 】

1. 授業題目：

楚辞文学研究

2. Course Title (授業題目)：

Literary Study of Chu Ci

3. 授業の目的と概要：

【目的】中国古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文文学作品『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を解説します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

4. 学習の到達目標：

- ①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的事項を理解し、実際に運用することができる。
- ②分かりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。
- ③レジュメや発表の内容を理解して疑問点や問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス

2. 『楚辞』について(1)

3. 『楚辞』について(2)

4. 『楚辞』「離騷」の解説(1)

5. 『楚辞』「離騷」の解説(2)

6. 『楚辞』「離騷」の解説(3)

7. 『楚辞』「離騷」の解説(4)

8. 『楚辞』「離騷」の解説(5)

9. 『楚辞』「離騷」の解説(6)

10. 『楚辞』「離騷」の解説(7)

11. 『楚辞』「離騷」の解説(8)

12. 『楚辞』「離騷」の解説(9)

13. 『楚辞』「離騷」の解説(10)

14. 『楚辞』「離騷」の解説(11)

15. 『楚辞』「離騷」の解説(12)

6. 成績評価方法：

授業参加態度（質疑応答）50%、発表内容（レジュメおよび口頭での説明）50%

7. 教科書および参考書：

教科書については初回ガイダンスの際に指示します。参考書については授業で適時、紹介します。

8. 授業時間外学習：

予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、疑問点・問題点を発見すること。

復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見をを自身の担当時に反映させることができるよう理解を深めておくこと。

9. その他：なし

科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅲ／ Chinese Language and Literature(Advanced Seminar)Ⅲ

曜日・講時：前期 水曜日 3 講時

学期：1 学期， 単位数：2

担当教員：土屋 育子（教授）

講義コード：LM13303， 科目ナンバリング：LGH-LIT608B， 使用言語：2 カ国語以上

【(平成 30 年度以前入学者) 対応科目名： 中国語学中国文学研究演習Ⅰ】

1. 授業題目：

中国近世文学研究

2. Course Title (授業題目)：

Chinese Popular Literature

3. 授業の目的と概要：

【授業の目的】

中国の伝統的な注釈方法に基づいて、通俗文学作品を読解できるようになる。中国近世の通俗文学作品を読むことを通して、基礎的な知識を身につけ、読解力を向上させる。原典や工具書の扱い方に習熟する。

【授業の概要】

中国近世の白話文学作品の読解を通して、中国の通俗文学に関する基礎的な知識を学ぶとともに、原文の読解力と分析し鑑賞する力の習得を目指す。授業は、発表と質疑応答によって進める。今学期は、『三国志演義』とこれに関連する作品を取り上げる。

4. 学習の到達目標：

- (1) 中国古典文（文言と白話）の読解力を向上させる。
- (2) 白話文学作品について、分析し鑑賞する力を習得する。
- (3) 辞書やデータベース等の活用と、原典（影印本・標点本等）に習熟する。
- (4) 歴史的背景を踏まえ、白話文学作品がどのように変化したかを理解する。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおりである。

1. イントロダクション
2. 作品について
3. 発表と質疑応答 (1)
4. 発表と質疑応答 (2)
5. 発表と質疑応答 (3)
6. 発表と質疑応答 (4)
7. 発表と質疑応答 (5)
8. 発表と質疑応答 (6)
9. 発表と質疑応答 (7)
10. 発表と質疑応答 (8)
11. 発表と質疑応答 (9)
12. 発表と質疑応答 (10)
13. 発表と質疑応答 (11)
14. 発表と質疑応答 (12)
15. 発表と質疑応答 (13)

6. 成績評価方法：

授業への取り組み：50%

発表（資料作成を含む）：50%

7. 教科書および参考書：

テキストはプリントを配布する。

参考文献は授業中に指示。

8. 授業時間外学習：

辞書を用いて、予習・復習をしてください。原文の一字一字についてそれがどのような意味か、その箇所が前後の文脈からどのような状況を言っているのか、などに気を配りながら、丁寧な学習をこころがけてください。

9. その他：なし

科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅳ／ Chinese Language and Literature(Advanced Seminar)Ⅳ

曜日・講時：後期 水曜日 3講時

学期：2 学期， 単位数：2

担当教員：土屋 育子（教授）

講義コード：LM23303， 科目ナンバリング：LGH-LIT609B， 使用言語：2カ国語以上

【(平成30年度以前入学者) 対応科目名： 中国語学中国文学研究演習Ⅱ 】

1. 授業題目：

中国近世文学研究

2. Course Title (授業題目)：

Chinese Popular Literature

3. 授業の目的と概要：

【授業の目標】

中国の伝統的な注釈方法に基づいて、通俗文学作品を読解できるようになる。中国近世の通俗文学作品を読むことを通して、読解力を向上させ、分析・鑑賞力を習得する。また、作品成立の時代的・社会的背景も理解する。原典や工具書の扱い方に習熟する。

【授業の概要】

中国近世の白話文学作品の読解を通して、中国の通俗文学に関する応用的な知識を学ぶとともに、原文の読解力と分析し鑑賞する力のさらなる向上を目指す。授業は、受講者による発表と質疑応答によって進める。今学期は、『水滸伝』とこれに関連する作品を取り上げる。

4. 学習の到達目標：

- (1) 中国古典文（文言と白話）の読解力を向上させる。
- (2) 白話文学作品について、分析し鑑賞する力を習得する。
- (3) 辞書やデータベース等の活用と、原典（影印本・標点本等）に習熟する。
- (4) 歴史的背景を踏まえ、白話文学作品がどのように変化したかを理解する。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおりである。

1. イントロダクション
2. 作品について
3. 発表と質疑応答 (1)
4. 発表と質疑応答 (2)
5. 発表と質疑応答 (3)
6. 発表と質疑応答 (4)
7. 発表と質疑応答 (5)
8. 発表と質疑応答 (6)
9. 発表と質疑応答 (7)
10. 発表と質疑応答 (8)
11. 発表と質疑応答 (9)
12. 発表と質疑応答 (10)
13. 発表と質疑応答 (11)
14. 発表と質疑応答 (12)
15. 発表と質疑応答 (13)

6. 成績評価方法：

授業への取り組み：50%

発表（資料作成を含む）：50%

7. 教科書および参考書：

テキストはプリントを配布。

参考文献は授業中に指示。

8. 授業時間外学習：

辞書を用いて予習・復習することを原則とします。原文の一字一字についてそれがどのような意味か、その箇所が前後の文脈からどのような状況を言っているのか、などに気を配りながら、丁寧な学習をこころがけてください。

9. その他：なし